

中心市街地活性化事業に係るアドバイス事業

(3・4丁目再開発、10丁目図書館)

商店街を取り巻く環境変化を踏まえた、賑わい回遊性への検討

<3・4丁目開発事業の目的> 平成29年度竣工予定

商業ゾーンの方向性商業や業務、医療福祉等の生活利便施設と集合住宅等の住環境機能を複合的に整備

空き店舗の点在によって閑散とした雰囲気となっている北大通の町並み作り、末広町の入口としての顔づくりを目指す。

① 3・4丁目開発により、どういう効果が得られるのか？

- ・分譲マンション60戸、老人ホーム68室(最低128人+α) 居住人口増加
- ・医療モール創設により、新たな来診者人口の増加
- ・商業、飲食店舗創設し、来客数の増加

<図書館の目的> 平成29年度竣工予定

北大通りに設置することは、公共交通機関の利便性が高い場所、早期に耐震等安全な図書館を整備する事ができる。中心市街地活性化に貢献、財政問題を解決できることから総合的にメリットが大きい

① 10丁目に図書館を創設することによって、どういう効果が得られるのか？

- ・集客効果の予測

平成25年度図書館利用者数は年間114,127人(貸出数380,512冊)
10代、20代の利用が少ないが、それ以外の利用率は良い。

新たな施設は、若者層の利用促進と居場所づくりを考慮した「ティーズルーム」の設置が予定されており、幅広い客層が望める。多目的ホールが整備され多様な集会行事が行われる事により、集客効果は高い。

<アドバイス内容>

- ・商店街組織体制の強化→連携の仕組みづくり
- ・空き店舗対策(使用可能実態、不足業種検討)
- ・共通駐車場可能性
- ・イベント等の情報提供→できるだけ長い時間を楽しんでもらう為、中心市街地の持つあらゆる機能を個別でなく繋ぐ組み合わせづくり
- ・新たな施設との連携

<調査予定>

ニーズ調査(市民・来街者・関係者等)

地域分析(マーケッティング、利用可能空き店舗、駐車場等)